

氏名（本籍）	マツ サキ エリコ 松崎 恵里子（神奈川県）
学位の種類	博士（美術）
学位記番号	博美第196号
学位授与年月日	平成19年3月26日
学位論文等題目	〈作品〉公案 〈論文〉美術作品におけるタイトルの意味 －作品にとってタイトルとは何か－

論文等審査委員

（主査）	東京芸術大学	助教授	（美術学部）	木津文哉
（論文第1副査）	〃	教授	（ 〃 ）	上野浩道
（作品第1副査）	〃	〃	（ 〃 ）	佐藤一郎
（副査）	〃	〃	（ 〃 ）	本郷寛
（ 〃 ）	〃	助教授	（ 〃 ）	井村彰

（論文内容の要旨）

問題意識

現在、美術作品が美術館等の公的な場所で展示される際には必ず、作家名や素材等のキャプションが付けられる。そこに欠かせない情報として、作品名、即ちタイトルがある。そのように、すでに美術作品において、タイトルは欠くことのできない制度となっているにも関わらず、タイトルに対する意識はまだまだ低いものであると私は捉えている。個別の作家研究において、作品の解釈の際に糸口として扱われることはあっても、美術作品のタイトルそのものを対象とした研究は行われていないに等しい。しかし、すでに美術作品のタイトルには、「作品の同定のための表記」や、その発生において顕著な形であった、「画題を示したのもの」という機能を超えたものが多々存在する。美術作品が純粋な視覚芸術であった時代は過ぎ、作品の周辺を取り巻く様々な情報をも含めたものをして作家の表現とみなしている今、作品に必ず寄り添う文字情報であるタイトルの存在を所与のものとして見過ごすことは、鑑賞者、作家共に、作品に真摯に向き合うことにはならないと考える。

本研究の目的および研究方法

本研究の目的は美術作品のタイトルがいったいどのようなものであるかという点を明らかにすることであり、より豊かな表現、鑑賞への視点の提起である。タイトルが作品に果たしている機能や作品との関係について明らかにし、言語化することは、これまで明確に意識されることなく見過ごされてきた表現の場の発見、或いは再考への誘引になると考える。タイトルの来歴、作品との関係について考察し、明らかにすることで、タイトルが作家、鑑賞者にとってどのようなものであるのかを探る試みである。

本研究の構成

本論の構成は4章からなる。

第1章では美術作品のタイトルの今日のあり方を明らかにしてゆく足がかりとして、岡崎乾二郎、ルネ・マグリットの作品を採り上げタイトルと作品の間にあるずれについて考察を行なった。それによって、美術作品のタイトルについて漠然と捉えられているものに対する問いかけを行なう。また、美術作品のタイトルをなまえ、商品名などと比較することにより、その特異性を明らかにする。

第2章ではタイトルの来歴についてその発生、黎明期、その後の展開について考察した。先行研究をも

とにタイトルの発生について確認し、本論について注目すべき作品の説明や呼称という役割を超えたタイトルについて考察した。また、20世紀の美術の主だった様式とタイトルの関係について考察し、それがジュールレアリスム以降は一人の作家のなかにもその傾向が見て取れることをマーク・ロスコを例に挙げ検証した。

第3章ではタイトルがエクリチュールのひとつであるという点に着目し、考察を行なった。これまでのタイトルの流れを確認しつつ、その転換期になったと考えられる時期についてそれがダダにあったことを明らかにし、その運動がいかにしてタイトルに影響を与えるものとなったかについて考察を行なった。また、コンセプチュアル・アートを採り上げ、エクリチュールとしてのタイトルが作品とどのように関わりあうのか考察した。

第4章ではタイトルが果たす機能について考察した。作家がタイトルを付けることによって作品を限定できるものなのか知覚の面から検証し、タイトルと作品、作家と鑑賞者の関係をコミュニケーションという観点からの考察を試みた。また、ミシェル・フーコーの「作家とは何か」をもとに、作品を成立させる為の作家、「無題」について「題名無し」ということになりえないことを明らかにした。

研究成果

本研究の成果は、これまで扱われてこなかったタイトルそのものについて、今日では作品の同定や画題の説明、知覚への誘導といった役割を超えて存在することを明らかにした。それらは作品鑑賞を限定するものではなく、むしろ、タイトルと作品の間にあるずれば、作品そのものとは別の鑑賞者と作家双方向の新たな創造の場であることを明らかにした。逃れられない制度として存在するタイトルは、作家にとって作品に対する自らの意思表示の場にもなりうるものであり、そのような意識の下でのタイトル付けが求められると考える。

修了制作 作品

『公案』、H60×W61×D 3 cm… 6 Sheets、カンバス、ミクストメディア